

2011年度

科目名	日本仏教史B			
担当教員	梯 信暁			
配当	文 2・教育2・人間2		コード	52035
開期	後期	講時	金曜日2限	単位数 2
授業テーマ	中世日本仏教の展開			
目的と概要	日本の文化には、仏教の影響が顕著です。さまざまな思想・信仰と習合して日本人の習俗・習慣を形成してゆくとともに、個人の尊厳を自覚させるという機能をも果たしました。日本文化の基底をなす各時代の宗教思潮を求めることをめざしつつ、日本仏教の進展を支えた先達者たちの業績にも触れたいと思います。後期開講のBでは、中世の仏教を概観します。鎌倉新仏教の根底をなす思潮と、法然・親鸞・道元・日蓮・一遍の思想を紹介します。			
成績評価法	課題レポート80％・授業への取り組み20％			
テキスト	堀一郎『日本の宗教』原書房			
参考書				
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	シラバスを確認して、あらかじめテキスト・参考資料集を通読し、特に資料は読めるように準備しておいてください。			
講義計画				
1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 2. 念仏の流伝 3. 地獄と極楽の思想 4. 貴族の信仰 5. 神仏習合 6. 聖の活動 7. 末法思想 8. 法然：法然の生涯 9. 法然：法然の思想 10. 親鸞：親鸞の生涯 11. 親鸞：親鸞の生涯 12. 親鸞：親鸞の思想 13. 道元の生涯と思想 14. 日蓮の生涯と思想 15. 一遍の生涯と思想				